

令和4年度（2022年度）

管理事業名	後期高齢者医療事業			総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康	
					政策 3	地域での暮らしを支えるまちづくり	
					施策 2	生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営	
主な歳出 予算科目	後期高齢者医療 特別会計	(款) 1	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 1	一般管理費
部局名	健康医療部	予算執行 所属	国民健康保険課				
<b>事業の目的と概要</b> 後期高齢者医療制度は、75歳以上の方及び65歳から74歳までの一定の障がいがある方の医療保険で、保険者は大阪府後期高齢者医療広域連合であり、市は保険料の徴収、各種申請や届出の受付などの窓口業務を行う。							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
保険料現年分収納率	%	99.48	99.57	99.55	保険料（現年分）の調定額に対する収納額（還付未済額を除く。）の割合

II 活動実績・成果

<p>【指標1】保険料現年分収納率についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収納率99.55%</li> <li>・大阪府後期高齢者医療広域連合が目標としている収納率99%を達成している。</li> <li>・令和2年度からキャッシュレス決済及びコンビニ収納を開始し、納付の機会を拡大している。</li> <li>・後期高齢者医療特別会計は、事業にかかる費用のうち97.0%を後期高齢者医療広域連合納付金が占めており、残り3.0%は、職員に係る経費が1.5%、事務に係る物件費が1.5%である。物件費は、被保険者証及び保険料通知書等の発送経費並びにシステム関係委託料となっている。納付金支出、保険料収入とも昨年度よりも増加している。</li> </ul>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>高齢化の進展により後期高齢者医療保険の被保険者は年々増えており、保険料収入額及びそれに伴う後期高齢者医療広域連合納付金の支出額が共に増加している。特に、令和4年度から令和6年度にかけて団塊の世代が大量に後期高齢者医療に移行するため、医療給付費は上昇する見込である。これに対応するため、国において、一定以上の所得者の窓口負担割合の見直しや保険料の賦課限度額上限の引き上げが行われ、負担の見直しが図られている。</p>	<p>保険料収納率は、現年度分99%以上を達成しているが、引続き収納率の維持に努め、保険料率の引上げを抑える必要がある。</p>
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	140,025	162,631	22,606	流動負債	5,003	6,361	1,358
未収金	57,682	57,283	△399	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,003	6,361	1,358
徴収不能引当金	△8,252	△18,924	△10,671	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	62,954	47,906	△15,047
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	62,954	47,906	△15,047
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	67,957	54,268	△13,689
建物・工作物	-	-	-	純資産	121,498	146,723	25,225
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	0	0	0
重要物品	0	0	0	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	189,454	200,990	11,536
資産の部合計	189,454	200,990	11,536	負債及び純資産の部合計	189,454	200,990	11,536

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	275	301	347	46
国庫支出金(経常費用充当)	1,475	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	974,619	962,667	1,042,972	80,305
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	4,641,178	4,686,123	5,133,403	447,280
経常収入 小計(a)	5,617,547	5,649,091	6,176,722	527,631
経常費用				
給与関係費	80,704	78,012	68,984	△9,027
物件費	63,388	41,554	93,297	51,743
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,437,990	5,502,109	5,964,512	462,404
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,296	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	5,853	9,514	18,012	8,498
賞与引当金繰入額	6,066	5,003	6,361	1,358
退職手当引当金繰入額	-	-	-	-
支払利息	-	-	-	-
その他	115	193	330	138
経常費用 小計(b)	5,595,413	5,636,384	6,151,497	515,113
経常収支差額(a)-(b)=(c)	22,134	12,707	25,225	12,518
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	22,134	12,707	25,225	12,518
一般財源充当額	-	-	-	-
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	22,134	12,707	25,225	12,518

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,592,315	5,633,295	6,154,403	521,107
行政サービス活動支出	5,588,981	5,627,740	6,131,796	504,056
行政サービス活動収支差額	3,334	5,555	22,606	17,051
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	3,334	5,555	22,606	17,051
一般財源充当額	-	-	-	-
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	131,136	134,470	140,025	5,555

財務諸表の特微的な事項

勘定科目等	特微的な事項
【BS】現金預金	決算剰余金の増
【PL】経常収入/その他	後期高齢者医療保険料の増
【PL】負担金・補助金・交付金等	後期高齢者医療広域連合納付金の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被保険者1人当たりのコスト	125,418円	124,443円	129,713円
実績	44,614円	45,293円	47,424円
(各年度平均)	円	円	円

分析内容 被保険者1人当たり129,713円のコストがかかっている。令和4年度は、後期高齢者医療広域連合納付金の支出増によりコストが増加している。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	71,967	4,123	9.17
会計年度任用等	3,378	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	75,346	-	-

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		13.0	14.3	33.0	18.7
受益者負担比率		82.5	82.7	82.6	△0.1
一般財源充当比率		-	-	-	-